

プレスリリース

「はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭」が第18回日本鉄道賞「特別賞」を受賞

旅する芸術祭実行委員会、hakodate+

TEL 080-3318-5466

hakotori@shinhakodate.com

本年6月から7月にかけて道南いさりび沿線の3市町（函館市・北斗市・木古内町）を舞台に開催された「はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭」の、第18回日本鉄道賞特別における、日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞「旅とアートの融合による地域の未来創造」特別賞を受賞いたしました。

本賞は、鉄道に関する取組について、施設整備や既存の設備等を活用した取組のみならず、鉄道に関するクリエイティブな取組など様々な取組の中から優れた取組を表彰されます。「芸術祭（トリエンナーレ等）」による同賞の受賞は初となります。

1. 受賞した賞

「日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞「旅とアートの融合による地域の未来創造」特別賞」

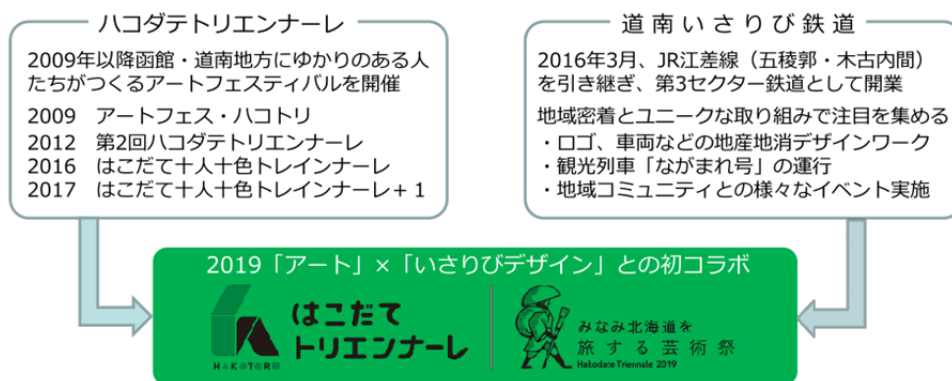
※鉄道賞についての詳細は道南いさりび鉄道のプレスリリースをご参照ください

2. 受賞内容

はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭

本企画主催の「旅する芸術祭実行委員会」「hakodate+」と、「道南いさりび鉄道株式会社」の3者での連名受賞となります。

3. 受賞した企画の概要



企画名称: はこだてトリエンナーレ みなみ北海道を旅する芸術祭

開催期間: 2019年6月28日(金)から7月21日(日)まで 函館開港160周年の貿易記念日に開幕

会場: 函館市内、北斗市内、木古内町内（はこだて観光圏内） 17会場で開催

出展作家: 道内外から30名

入場料: 入場無料(駅など公益性の高い場所を会場にするため)

小テーマ: 夏の色(緑) 道南の四季の色をテーマに今後も開催を検討

主催: hakodate+・旅する芸術祭実行委員会 認定:公益社団法人企業メセナ協議会

助成: 公益財団法人朝日新聞文化財団・函館市 連携:アートギャラリー北海道

協力: 道南いさりび鉄道株式会社・横浜高速鉄道株式会社

北海道立函館美術館・NPO法人ちいき未来・NPO法人おどろ木ネットワーク

後援: 函館市・函館市教育委員会・北斗市・木古内町・木古内町教育委員会

JR北海道函館支社・函館国際観光コンベンション協会

【関連企画】

・ **横浜サテライト展～はこだてトリエンナーレ ヨコハマに旅する芸術祭～**

会期／5月18日～26日 会場／横浜高速鉄道みなとみらい線横浜駅

内容／本展に出展するアーティストのうち、9人のインスタレーション、立体や彫刻などの作品を横浜駅の壁面や柱などに展示し、本展を周知しました。

・ **道立函館美術館共催・ココカラハジマル展**

会期／6月15日～21日 会場／道立函館美術館

内容／いさりびの電球（イカの集魚灯）を素材にオブジェを制作、展示。はこトリ作家の小品紹介。

【ワークショップ展示】沿線の生徒と地元出身による共同制作（ささきようすけ）

・ 上磯高校・北斗高等支援学校 生徒（清川口駅展示）

・ 石別中学校 生徒（渡島当別駅展示）

地域の未来を担う子どもたちが、鉄道と親しみながら芸術への関心を深める機会を作りました。

4. 受賞者コメント

同賞は、クリエイティブな取り組みについては「鉄道の魅力（楽しさや面白さなどを含む）を強く発揮している取組」「地域の活性化に大きく貢献している取組」の視点を基に選考されます。

アーティストと地域の方々が道南いさりび鉄道と協力して作ってきた「作品(アート)を巡る旅の中で列車に乗り、街や人と出会う」この芸術祭の取り組みの本質を、鉄道の視点からも評価をいただきとても嬉しく思っています。